

隠されたボランティアを探し出せ!

まもるくんへ大事なボランティア情報はあずかった!
もし返してほしいければ凧風館をめがせ。
じかんないにこなければ捨ててしまうぞ
いざ! 探してみよ!

怪盗 G 🐾

まもるくん



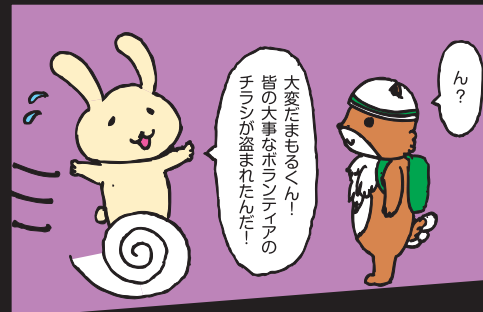
まもしい



あっきー



のびるくん



Volury

ボラリー 関西大学ボランティアセンター通信

130 KANSAI UNIVERSITY

Vol.25

発行日: 2014年(平成26年)12月10日
発行: 関西大学 ボランティアセンター
大阪府吹田市山手町3丁目3-35
〒564-8680 / TEL.06-6368-1121
<http://www.kansai-u.ac.jp/volunteer>



日常に、
ボランティアを。

Index:

- P1~2: ボランティアアルバム
- P3: 連載 第12回学生スタッフボランティア体験隊
- P4: ボランティア診断 ~あなたにぴったりなのは?~

裏表紙から漫画が始まります



ボランティアセンター学生スタッフは、今年もたくさんのボランティア体験ツアーを実施しました。このページでは、その中からいくつかのイベントについて紹介したいと思います。

春

みんなで守ろう! 蛍の光ボランティア

- 高槻市の市民団体と連携し、高槻市新川沿いに生息する姫蛍の存在を知ってもらい、環境保全に繋げることを目的として取り組んでいるボランティアです。当日は、団体の方とともに、自分たちで考えたデザインで灯ろうを並べ、啓発活動を行うと同時に蛍の観賞も行いました。



小学生と楽しく学ぼう! 学童ふれあいボランティア

- 豊津第一小学校の学童を相手に、防災に関する紙芝居やクイズ、カルタなどを行い、子どもたちに防災について学んでもらう場を創りました。参加した学生は、元気な子どもたちとさまざまな形で交流を行いました。



夏

子どもと学ぼう 昔遊び@キッズミュージアム

- 本学の博物館が、夏休みを利用して子どもたちに何か学んでもらおうと企画しているイベントに参加させて頂きました。今年は日本の昔遊びであるけん玉やあやとりなどを用意し、子どもたちとふれあい、昔遊びを知ってもらいました。



「飛鳥光の回廊」ボランティア

- 毎年奈良県明日香村で行われる、灯ろうを並べ村を彩るイベントです。ボランティアセンターはデザインの段階から携わり、今年は蝶とハスの花の形に灯ろうを並べ、今年のテーマである四神を色で表しました。



淀川掃除ボランティア

- 毎月第1日曜日に、淀川河川敷でゴミ拾いを行っています。清掃後は交流会もっており、ボランティアに興味がある学生同士が、清掃を行いながら交流を深めることができる良い機会となっています。

秋

アユの産卵場を整備しよう!

- 高槻市芥川に生息しているアユのために、産卵場を整備するボランティアです。当日は胴長靴を履いて川へ入り、アユが産卵しやすいように川底を整備します。普段なかなか体験できないことなので、参加者はとても楽しんで活動していました。

2014学園祭「みんなでchallenge the mission! 交通ルール～ありのままのルール守るのよ～」

- 今年の学園祭では、子どもたちに交通ルールを学んでもらう企画を行いました。カルタやすごろく、人形劇、模擬道路での体験を通して、多くの子どもたちに交通ルールを知ってもらいました。学生スタッフ全員で取り組むイベントであり、スタッフ同士の絆も深まりました。



冬

ミズヒマワリ駆除作戦

- 高槻市芥川で、高槻市の市民団体と連携し、ミズヒマワリの駆除を行います。ミズヒマワリは非常に繁殖力の強い外来種で、川の生態系に大きな影響を及ぼすため、定期的な駆除が必要です。胴長靴を履いて行う作業は大変ですが、その分やりがいを感じられ、地域の方と交流もできる有意義なボランティアです。



淀川大掃除

- 今年度で4回目を迎える、大規模な淀川掃除です。当日は体育会なども参加し、500名近い人数で清掃を行います。2月という寒い時期にもかかわらず、とても多くの方が参加するボランティアで、交流も活発に行われ、清掃が終わった後の達成感は非常に大きいです。



関大クリーン大作戦

- 毎月1回、空きコマを使って行う、事前申込み不要の気軽に参加できるボランティアです。普段は2種類のボランティアを交互に行っています。1つは大学周辺清掃で、関大前と大学の裏側の通りでゴミ拾いをします。普段お世話になっている地域への貢献にもなります。もう1つは図書館の本の落書き消しで、本に書かれた線や文字を消すなかで、みんなで和気あいあいと喋り、楽しく活動しています。



ボランティアセンター学生スタッフの1年はいかがでしたか?このほかにもたくさんのボランティアのイベントがあります。ぜひ参加してみてください。素敵な出会いが待っているかもしれません。

このページでは、私たち学生スタッフが実際に体験したボランティアを紹介します。今回は「Reroots東北被災地支援 ガレキ撤去・土起こし」と、「福井ワーキングホリデー」です。参加した学生スタッフそれぞれに感想を書いてもらいました。個々の思いが凝縮された感想を通して、読者の皆さんに何か感じてもらうことができれば幸いです。



Reroots東北被災地支援 ガレキ撤去・土起こし

畑として使用したい土地の土を整備するボランティアでした。震災によって流されてきた直径30cmを超える石や、瓦の破片や木の板などがまだまだ多く埋まっており、それらが土の中に残っていると畑として使用することができないので、スコップで掘り起こし、取り除く活動を行いました。

私たちにはほんの小さなことしかできず、被災地支援と呼べるようなものではありませんでした。しかし、受け入れ団体の方に震災当時のことや被災地のことなど様々なことを教わったことで、現実を知ることができました。現地の方は私を笑顔で受け入れてくれ、私たちにできることはまだまだあるなと思いました。(さささん)



半日ほどの短い活動だったので、正直役に立つことができたのか自信はありません。直に現状を知り、それまで自分がどれだけ知らなかったのか痛感しました。現地の方との交流も合わせて、この活動はとても貴重な経験になりました。(たまちゃん)



福井ワーキングホリデー

1泊2日のボランティアで、1日目は収穫を終えた後のビニールハウスで次の作物を育てるための片付けをしました。1つ1つは小さな作業ですが、意外と力仕事で数も多いのでとても大変でした。2日目はトマトの収穫と、収穫を終えたミニトマトのビニールハウスの片付けをしました。



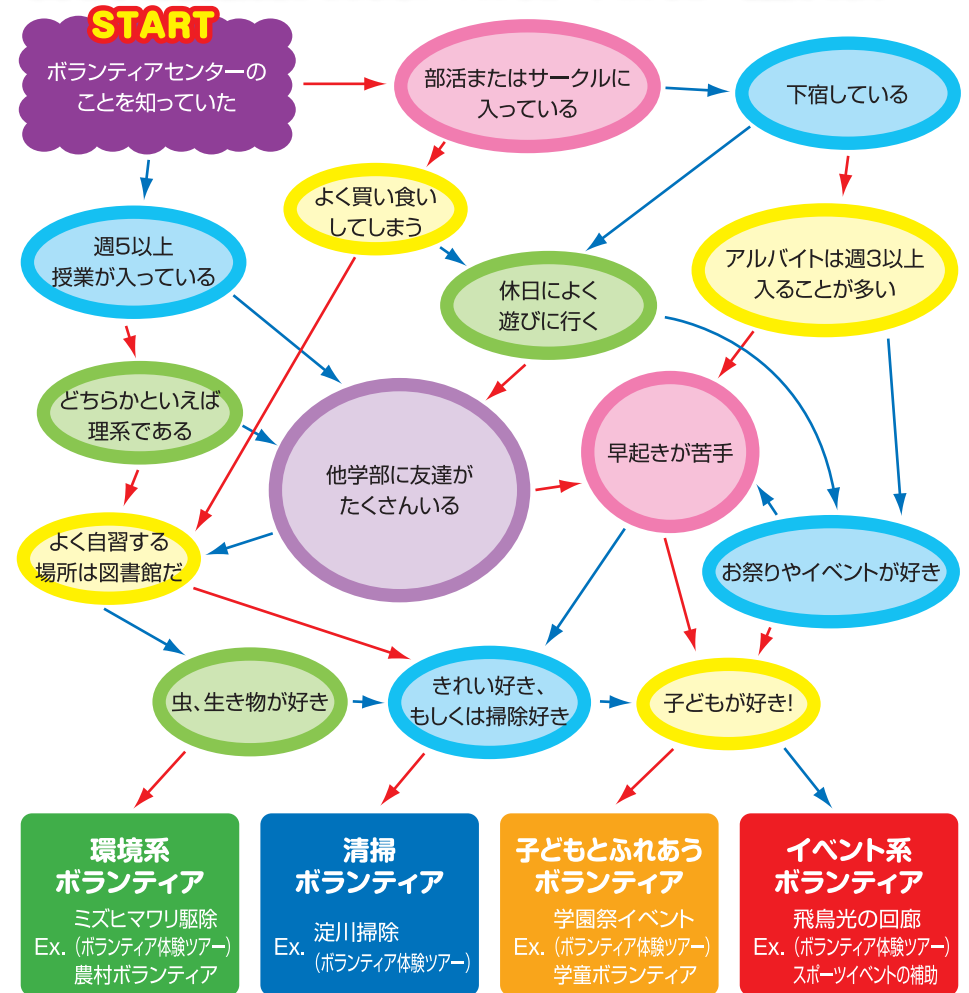
今までなんの考えもなく食べて、残して、捨ててきたものが大量の汗と苦労とで作られていると学びました。作物を作るのは大変だと知ってはいましたが、実際に活動することで、初めて本当に理解できました。(うえぼん)

40度を軽く超えるビニールハウス内での収穫後の片付けは、汗はダラダラで泥だらけになり、普段運動しない僕にはかなり過酷でした。ただ、作業後のトマトは何よりも美味しかったです。(みかみん)



真夏のビニールハウスの中での活動は想像以上に辛く、当たり前作業する農家の方の偉大さを実感しました。体力は要りますが、自然に囲まれて汗を流すのは気持ち良く、食べ物のありがたみを再認識させてくれるやりがいのある活動でした。(がっきー)

ボランティアをしたいけれど、どんなボランティアをしたらいいか迷っているあなた! まずは下の質問をたどってみよう! **Yes**なら→、**No**なら→を選んでね!



上記4つ以外にも、ボランティアセンターではさまざまなボランティアを紹介しています! ボランティアに興味のある人は、ぜひ一度ボランティアセンターにお越しください! (^^) 学生スタッフがあなたにぴったりのボランティアをコーディネートします!

FILE NO.3

～ボランティアセンター～

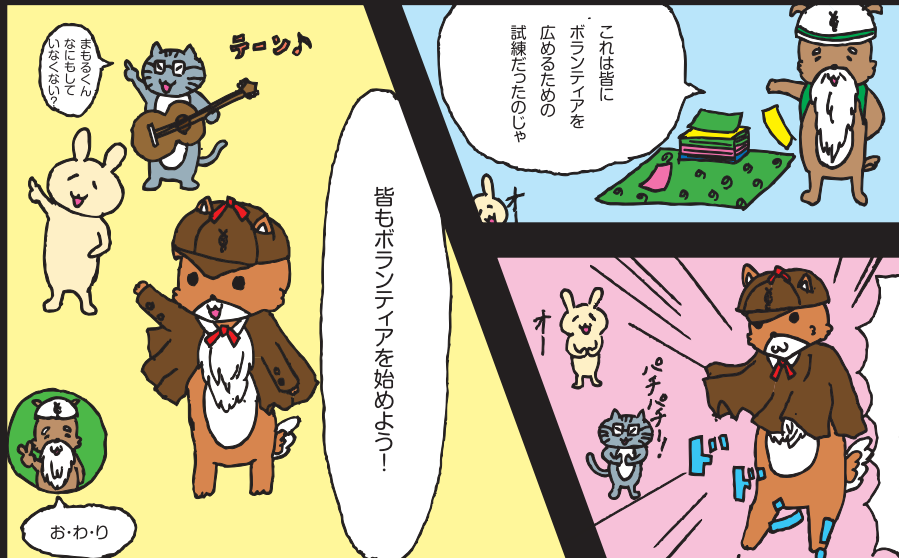
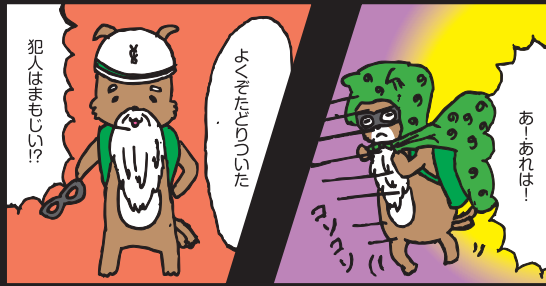
関西大学ボランティアセンターは、関大生の社会参画活動を支援し、学生の自主性と社会性を育成することを目的としています。凧風館1階にあり、職員と学生スタッフがボランティアに関する様々な疑問・質問についてお答えします。



ボランティアセンターとは？



さあボランティアセンターだ！



FILE NO.1

～学生スタッフとは～

学生スタッフは関大生にボランティアを広める活動をしています。また、同じ学生の立場からボランティアに関するアドバイスも行います。様々なボランティアイベントの企画・運営が主な活動で、学生スタッフ同士での定例会議も行います。他大学の学生スタッフや地域の方々と関わる機会も多く、学ぶことがたくさんあります。



FILE NO.2

～ボランティアエリア～

ボランティアエリアは、ボランティアについての話を通じて交流する場です。さらにエリア内では学生スタッフが企画しているボランティア活動をポスター等で紹介しています。たとえば、学生スタッフが企画した淀川掃除ボランティアなど、ボランティア情報満載です。

